

2019 ぎふ平和のつどい

ニュース 第2号 2019年8月発行

「2019 ぎふ平和のつどい」

実行委員会 編集

(委員長:平井花画)

事務局:「岐阜・九条の会」

(岐阜県教育会館3F 304号)

平和への強い願いをこめて、「平和のつどい」を成功させましょう

7月21日、参議院選挙の投票が行われました。憲法9条を変えて再び日本を戦争に巻き込もうとする安倍政権に対して、痛撃をあたえることができるかが最大の焦点でした。

結果は、野党が一人区ですべて統一候補を擁立し奮闘したことが効を奏して、改憲勢力は3分の2を維持できませんでした。でも、安倍首相は何としても改憲を実現しようと、様々な画策をしています。

これに対して、二度と戦争をさせない私たちの強い願いを表すために、「平和のつどい」をぜひ成功させましょう。

2019 ぎふ平和のつどい

2019年11月3日(祝)

13:30~16:00 受付:12:30

会場:岐阜市民会館大ホール

講演:那須正幹さん(児童文学作家)

「ズッコケ三人組平和を語る」

「9条に恩返しをしたい」と語る那須さんに期待

私の所属する「日本児童文学者協会」は、戦後まもない1946年に結成された。そこには、子どもたちが再び戦火にさらされることのないよう、また子どもの本の書き手が二度と子どもたちを戦場に追いやるような作品を書かないという強い願いがこめられていた。

那須正幹さんは、2007年その日本児童文学者協会の第15代会長に就任している。地方を拠点にする作家の会長就任は大きな話題を呼んだ。那須さんは、広島生まれ、4歳の時に自宅で母親の背に負ぶさって被爆している。こうした体験から戦争や平和の問題について殊更に思い入れが強い。

「私自身、9条がなければ、ベトナム戦争に出兵させられていたかも知れない。9条に守られてきたとの思いがあり、今度は9条に恩返ししたい」と言い切る那須さんの講演を待ち望んでいる。

堀野慎吉(児童文学作家、岐阜創作集団コボたち)

那須さんの新作『ばけばけ』を読んで

小学校の学級文庫に「ズッコケ三人組」シリーズが並んでいて、読書好きな子どもたちが早い者勝ちで読んでいたのが懐かしい思い出です。あの「ズッコケ」作者の那須正幹さんのお名前に、昨年「ばけばけ」で再会しました。「ばけばけ」も「ズッコケ」で描かれている世界に通じるところがありますが、全く違ったエンターテインメント性のある小説に仕上がっていて、ドキドキしながら読み終え、素晴らしいなあ。と思いました。

どちらの作品も、主人公の三人組は魅力的ではあるけれど、ごく普通のサエない奴らです。でも、苦しい人の事は放っておけないし、悪い事は許しておけない正義の人たちです。

自分にとって正しいと思う事柄を口ににくい時代になってしまいました。「憲法を守りたい」と言った人が「専門家でもないのに!」と叩かれるなんて事はザラです。平和な暮らしを守りたいのも、子ども達に殺人をしてほしくないのも当たり前な気持ちなのに。

今回のつどいでは、広島県出身那須正幹さんならではの、市民目線の鋭いお話が聞かせていただけるだろうな、と楽しみにしています。

二俣佳織(富加町大平賀・喫茶店"Peace"店主)



(ポプラ社刊)

